

年少さん（3歳児）の園生活の様子（立花幼稚園、新宮幼稚園、新宮東幼稚園）

広報（7月号、8月号、9月号、10月号）の4回にわたって町立小中学校の新生や、幼稚園の新生入園児の様子について紹介します。



立花幼稚園

立花幼稚園は、6人の年少はな組さんの元気な声が毎日幼稚園いっぱいに響いています。朝のお名前呼びでは「はーい！」と元気に返事し、音楽に合わせて手遊びや体操をし、園生活にもすっかり慣れて、先生や友達と一緒に楽しんでいます。1学期末には、はな組さんが大切にお世話をしてきたひまわりが大きな花を咲かせ、みんな大喜び！

太陽に向かって大きく咲くひまわりのように「元気いっぱい」「笑顔いっぱい」のはな組さんです。



▲すてきな笑顔のはな組さんです！



新宮幼稚園



▲園庭でのびのび遊んでいます！

新宮幼稚園の年少りす組さん15人もすっかり幼稚園に慣れ、毎日笑顔で登園し、友達や先生と一緒に過ごすことを喜んでいます。なかでも屋外で遊ぶことが大好きで、斜面にかかった大きなすべり台を怖がらずに滑ったり、ブランコに乗ったりと体を思いきり動かして遊んでいます。

また、園庭に広がった松林は、夏の暑い日も木陰が涼しく、固定遊具や砂場があり楽しい遊び場の1つになっています。松ぼっくりを拾ったり、セミの鳴き声を聞いたり、松の木に登ったりするなど自然いっぱいの園庭で開放感を味わっています。



新宮東幼稚園

新宮東幼稚園は、19人の年少りんご組さんがいます。保育室のすぐ横にある年少さんの砂場では、砂の感触を思いっきり感じることができるように裸足で遊んでいます。子どもたちは、サラサラした砂に「気持ちいい！」と大喜びしています。

また、小さなスコップとバケツで砂を集め、いろいろな形づくりをして遊んでいます。

コロナ禍で、大きな声を上げて遊ぶことはできませんが、砂の上に座って活動したり、寝転んだりして、砂に思いっきり触れて遊ぶ姿はとても楽しそうです。



▲砂遊びは創作力が育まれます！